自主・創造

第21号　令和8年10月28日(水)

柏原市立国分中学校　校長室だより

先生と生徒で「かくれんぼ（宝探し）」　大成功！！

10月26日（月）5・6時間目に行われた今回の企画では、生徒の皆さんが楽しそうに活動する姿がとても印象的でした。また、先生方も皆さんと同じように楽しみながら参加していました。

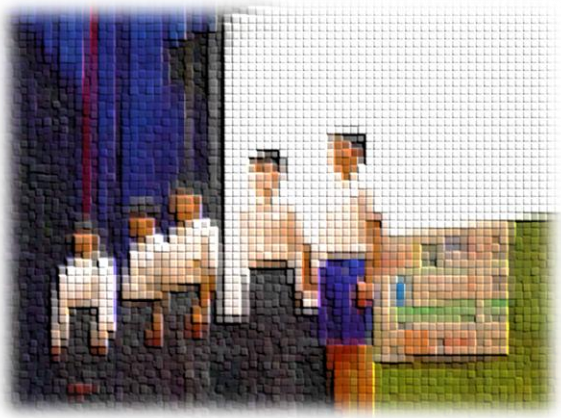
この企画は、皆さんへのアンケートをきっかけに始まりました。その後、リーダー研修会で内容がまとめられ、中央委員会や「やってみたいPT」の皆さんによって何度も話し合いが重ねられました。そして、多くの時間と労力をかけて、今回の企画が実現しました。ぜひ、このような目に見えない努力にも思いを巡らせてみてください。

そして、今回の企画を「楽しかった」で終わらせないでほしいと思います。例えば、明日からのあいさつが昨日までより少し明るくなったり、環境美化に対する意識が高まったりするなど、この活動をきっかけに国分中学校がさらに良くなっていくことを期待しています。また、縦割り活動班での交流を通して、これまであまり話したことのなかった他学年の仲間とのつながりが生まれたことと思います。給食配膳室の前で会話が増えたり、登下校の際に学年を越えて話す姿が見られたりすれば、学校生活はもっと楽しく、温かいものになるでしょう。

今回の活動で生まれたつながりや気付きを大切にしながら、これからもみんなでより良い国分中学校をつくっていきましょう。



校長室を捜索中←企画発表→





縦割り班で、作戦タイム♪



明日は生徒会本部役員選挙　新しい風を感じます。

さわやかな秋風が吹き、心地よい風を感じます。そして今週から、生徒会本部に立候補を表明してくれた６名の生徒が選挙運動の一環としてあいさつ運動をおこなってくれました。一人ひとりに投票を呼び掛ける姿を見て、新しい風が吹いていることを感じました。まずは、立候補を表明してくれた６人の皆さんの勇気と熱意に感謝致します。ありがとう。

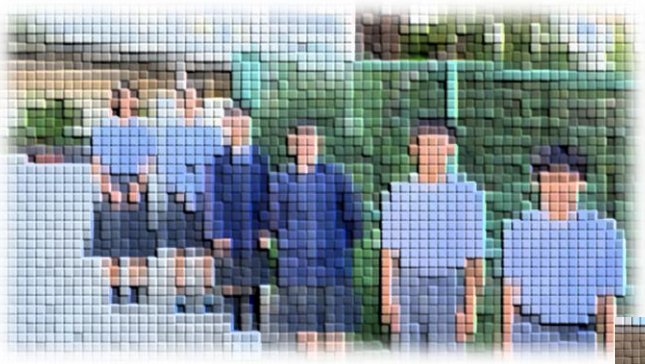
２年	さん	２年	さん	２年	さん
２年	さん	１年	さん	１年	さん

さて、今回は６名の定数に対して６名が立候補をしてくれましたので、投票する皆さんは、６人に対して信任投票することになります。つまりは、「信頼できるかどうか」を問う投票になります。

それでは、選挙に参加することの意義を確認しておきます。現在の日本では18歳以上に選挙権が与えられます。選挙は、「自分たちの気持ちや考えを議会等で話すリーダーを選ぶためのもの」です。それぞれの持つ票の積み重ねによって当選者が決定されます。つまりは「投票する側の責任の重さ」があります。

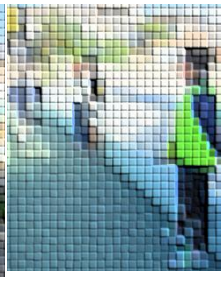
立会演説会では、生徒に選ばれた学校の代表として、「どのような学校にしていきたいのか」投票する皆さんは、「それぞれが考えるよりよい学校とは何かを考える」ことが大切です。R7―R8年度の生徒会本部役員の皆さんは、これまでの中央委員会の慣習や雰囲気を変え、意見交流しやすい場へと変えました。校則検討委員会の中心となり、意見をまとめるなど、学校を過ごしやすい場所にしてくれました。集会では堂々とした姿勢で思いを伝え、学校について考える有意義な場を作ってくれました。これらが「校風」となり、伝統へ変わっていきます。

さぁ、明日の立会演説会では演説する側、応援する側、そして信任投票する側、支える先生方皆で「学校を変える新しい生徒会」誕生に向けた新しい風を感じましょう。



立候補者の皆さん





ＰＴＡ教職員合同秋の交通安全指導

21日（水）の今朝、交通安全指導を行いました。国中の伝統である「挨拶」が清々しく、爽やかな気持ちになりました。また、安全に登校できるように児童に付き添って頂いている保護者の方が何人かいらっしゃる事に気づき、地域に支えられていることを再認識しました。また、地域の方に危険な箇所を教えて頂きましたので、生徒たちへの注意喚起をさせて頂きます。引き続き、今後とも見守りの程、よろしくお願い致します。

